

「もっともっと南木曽を元気に」するために、後援会
に加入して頂ける方は下記のハガキをご利用下さい。
会報等をお届けします。

また皆様のご意見を
お寄せください。

*この名簿は後援会活動
以外には使用しません。



キリトリ

向井ひろあき後援会 申込書

※ご加入は18歳以上の方でお願いいたします

お名前	フリガナ
ご住所	南木曽町 (地区名)

お名前	フリガナ
ご住所	南木曽町 (地区名)

お名前	フリガナ
ご住所	南木曽町 (地区名)

お名前	フリガナ
ご住所	南木曽町 (地区名)

お名前	フリガナ
ご住所	南木曽町 (地区名)

前を向いて、前へ (ごあいさつ)

「もっと南木曽を元気に」をキャッチフレーズに、2期8年間を町政の進展に向けて精一杯取り組んできました。少子化の荒波に少しでもあらがおうと、新婚生活応援制度、不妊不育治療費上乘補助、子育て応援給付金、こども園のスタート、給食費の公費負担(こども園無償、小中2/3)、入学祝品贈呈など各種子育て・教育支援策を拡充してきました。しかし、まだまだ成果は不十分であり、更なる支援を進めていきます。未曾有のコロナ禍にあっては、町対策本部を設けて70回以上の会議を実施、県境にあって混乱しがちな情報収集を積極的に行って予防策を講ずると共に、地域商品券を7回に渡って給付する事などで地域経済の維持に努めながら、皆さんの理解協力を頂く中で乗り越えることができました。しかし、縮小した地域経済を立て直し、後継者はじめ人材確保への対応策は待ったなしの課題です。ほかにも坂下病院の診療所化やあすなろ荘の経営縮小、公共交通の確保、リニア新幹線工事への対応など、町が直面する課題に前向きな姿勢で取り組む決意です。気候変動にともなう国土強靱化に対応すべく、国道や木曽川の期成同盟会などによる19号の雨量規制や木曽川増水・砂防事業の整備促進も働きかけを強めてもいきます。

これまでの成果は目に見えるものもあれば(裏面の実績を参考にして下さい)、引き続き運動を進めることで結果に繋がるものもあります。目の前の課題に臆せず取り組んでいく事(裏面のやろうとする事を参考にして下さい)がこれからの南木曽の未来に繋がるものと信じています。引き続き子育て世代の負担軽減と教育の充実を進めると共に、地域経済の活性化や人づくり、定住の促進、医療・福祉の維持拡充、交通の整備確保などを主体に町政の進展に向けた取り組みを進めていきます。

皆さんの声に耳を傾けながら、皆さんと共に、「住んで良かった、暮らして良かった、住むなら南木曽」と言える町づくりに全力を尽くします。引き続き皆様のご支援を頂きながら取り組みを進めていく覚悟です。先を見つめ前を向いて、一歩二歩と確実に前へ進むべく精一杯頑張ります。

討議資料

向井ひろあき プロフィール

- ・昭和35年3月24日生 3人兄弟の長男として生まれる
- ・蘭小学校、南木曽中学校、蘇南高校を卒業
- ・明治大学に進学、卒業後南木曽町役場に奉職
- ・農務、建設、水道、商工観光、企画、教育委員会などの部門を担当後、木曽広域連合地域振興課長として出向、帰任後建設環境課長を努めた後退職
- ・平成28年4月 南木曽町長選挙で初当選
- ・令和2年4月 2期目の当選、現在に至る
- ◆家族 妻、一男二女(現在は妻・長男と3人暮らし、孫5人)
- ◆趣味 スポーツ観戦、雑誌を見ること
- ◆好きな言葉 「前に」「がんばる」
- ◆身長180cm 体重73kg 血液型 B型



《現在の主な役職》

道路整備促進期成同盟会全国協議会財務委員、全国伝統的建造物群保存地区協議会監事、長野県町村下水道協会長、長野県茶業振興協議会副会長、史跡整備等長野県市町村協議会理事、長野県河川協会理事、長野県治水砂防協議会理事、長野県道路期成同盟会理事、木曽郡町村会副会長、木曽広域連合代表副連合長、木曽地域文化遺産活性化協議会長、蘇南高校地元市町村協議会長、中津川・塩尻・木曽・下伊那SDGs推進協議会副会長、国道256号改良促進期成同盟会長、中津川南木曽県際道路改修促進協議会長、木曽地区治水対策協議会会長、南木曽町地方創生総合戦略会議会長、南木曽町リニア中央新幹線対策協議会長、南木曽町空家対策協議会長、御嶽海後援会副会長 ほか(令和6年1月現在)

*皆様のご支援をお願い致します。

向井ひろあき後援会

代表 木村左右和

〒399-5301

長野県木曽郡南木曽町読書2740の2

電話 0264-57-2475



ホームページは
こちらから

もっともっと
南木曽を元気に！

向井
ひろあき

こんなことを
やってきました

子育て・教育

- ・不妊不育治療上乗せ補助
- ・産後ケア、親子3歳児検診・5歳児検診（無償）
- ・1～2歳児に子育て応援給付金
- ・3保育園体制からこども園として開園、子育て包括支援センター設置
- ・こども園給食費無償化、小中学校給食費公費負担スタート
- ・入学祝い品贈呈、中学校学力検定費用助成、中3高3インフル助成 など



健康・暮らし

- ・健診制度拡充（国内でも受診率が上位、医療費減少の効果も）
- ・住民票等コンビニ交付開始（R6.2.7～）
- ・全戸光ケーブル化、町ホームページ改修
- ・高齢者運転免許自主返納支援、自動車踏み間違防止装置助成
- ・デマンドタクシー導入（与川・北部）、バス乗継割引制度、障がい者割引制度
- ・交通死亡事故ゼロの継続（8年以上）
- ・コロナ対策（町対策本部による予防策、商品券7回発行などの経済対策ほか）など

防災・環境

- ・梨子沢災害の復興・じゃぬけの碑建立、直轄砂防事業の継続
- ・防災無線全戸更新、河川水位計増設
- ・国道19号改良促進期成同盟会及び木曽川治水対策協議会立上げ
- ・木曽川右岸道路、R256、中津川田立線、中津川南木曽線の整備促進
- ・19号賤母雨量規制基準の緩和（150^{mm}→210^{mm}）
- ・小規模水力発電施設の導入（小学校上）など



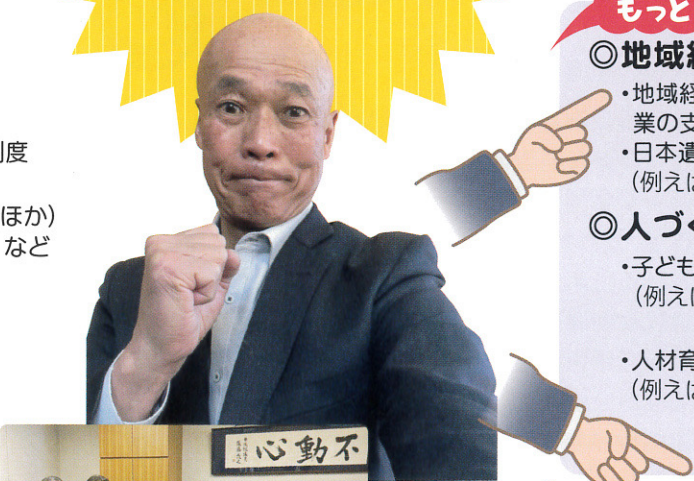
定住・振興

- ・新婚生活応援制度、婚活支援制度
- ・ふるさと納税による寄付額大幅増
- ・単身町営住宅・ユアアイ住宅の建設、ミニ宅造事業の実施
- ・地元産材、地元事業者にこだわった木造施設建設
- ・空き家対策協議会の設置、実態アンケート・片付け補助など支援策など

討議資料

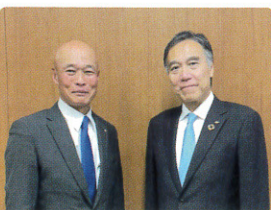


やってきた事を
活かして、
こんな事も
進めます！



観光・交流

- ・名城大学、名古屋外国語大学と包括連携協定締結
- ・大同特殊鋼と森の里親契約（天白町有林整備）
- ・町観光協会の法人化と支援
- ・チャレンジクラブ・マラソン大会支援 など



もっともっとやります！

◎若い人や子育て支援・教育支援の継続強化、定住化促進を

- ・若者や子育て世代の負担軽減につながる各種支援制度の継続拡充（例えば）入園入学のお祝い制度の拡充・給食費の公的負担の増額・小学校に標準カバンを導入し希望者に支給 など
- ・子ども達の居場所づくりを応援（例えば）学校に通いづらい子ども達を受け入れる仕組みづくり、町が全面支援する南木曽ならではの放課後子ども教室の支援継続など
- ・身近な自然や環境を活かした保育・教育を（例えば）ふるさと教育・やま保育・木育推進、親子ふれあい公園 など
- ・定住につながる住む環境、働く環境、通う環境の整備（例えば）ミニ宅造（田立地区）の早期建設、単身住宅の整備、空き家を活用した借上住宅やコワーキングスペースの整備、リア車両基地など通勤圏拡大と開業効果を活かすために19号の雨量規制解除と右岸道路の延伸・整備促進 など

もっともっと必要です！

◎地域経済の活性化、地域産業に活力を

- ・地域経済と地域産業や農林産業の活性化につながるよう後継者確保・事業承継や起業の支援、ふるさと納税の活用 など
- ・日本遺産、インバウンドのチャンスを活かした取り組みを（例えば）木曽路を通して歩けるルート作りでスローツーリズム・SDGsによる誘客

◎人づくり、人材確保で豊かな未来を

- ・子ども達が戻って来たい、住みたいと思える「ふるさと学習・体験」の機会を増やします（例えば）子ども達の意見やアイデアを具体的に町政に活かせる機会を作り郷土愛を養っていきます など
- ・人材育成と交流推進（例えば）公民館・チャレンジクラブ・健康マラソン・若者交流会議・蘇南高校支援・大学連携の支援、活動拠点となる南木曽会館整備と周辺の見直し計画を具体化、地域役職の軽減化（町村交通災害共済掛金公費負担） など

もっともっと安心と安全を！

◎地元医療・福祉機関との連携・確保を

- ・町内の医院と歯科医院を守るために地元医師との連携を大切に
- ・坂下診療所、木曾あすなろ荘の維持充実、関係団体との連携を（例えば）坂下診療所で検討が進められている民間医療法人（入院機能の確保、訪問診療の実施などを計画）の開設に町としても協力を、木曾あすなろ荘支援に向けた具体的な取り組みを、社協など町内関係団体との連携支援による福祉機能の維持充実を
- ・健診率向上（今も全国で上位）によって健康長寿の町、医療費抑制 など
- ・砂防、治山、治水、防災など国土強靱化。地域防災力強化（例えば）ICT・ケーブルテレビを活用した防災情報、消防団員の処遇改善（手当増額）
- ・ICTやDXによる利便性向上（例えば）他の役所でも住民票交付、ペーパーレス会議、CATV回覧板 など

私たちは「もっと南木曽を元気に」を合言葉にしながら、町の諸課題に誠実に対応している向井裕明君を応援しています。

皆様の「声なき声」をもっともっと聞ける身近な町長となるよう、多くの皆様方のご意見ご要望、叱咤激励を頂いています。

町がより発展し、住みよい町になるような施策を実行するためにも、後援会の更なる充実が肝要です。一人でも多くの方にご入会頂き、共に元気で豊かな町づくりのために、ご協力頂ければと思っています。

「向井ひろあき後援会」をどうぞよろしくお願い致します。

向井ひろあき後援会長 木村左右和



郵便はがき

3 9 9 5 3 9 0



差出有効期間
令和6年4月
30日まで
〈切手不要〉

南木曽郵便局私書箱第2号

向井ひろあき
後援会事務所 行



ご意見ご要望をお寄せください。

